

定します。100～86%長体の場合：Normal、85～66%長体の場合：C8、65～50%長体の場合：C6が適しています。①どのウエイトでも上記指定の変形率で長体をかけた時、縦画と横画のバランスが保たれるよう設計してあります。限られたスペースに多くの情報を表示させたいとき、製品やパッケージの成分表示、スペックや機能一覧、約款などの長文説明などに最適です。

TB丸ゴシック

TB丸ゴシックは、エッセイや、地域の情報紙、Webデザインなどに適したやわらかい印象を与える書体です。本文用書体である丸ゴシックSL/Rは長い文章を組んでも読みやすいオーソドックスで素直な字形をこころがけました。見出し用の丸ゴシックDE/Hは他の書体では出せない力強さと親しみやすさを同時に表現できる書体です。①デジタル丸ゴシックは、少ない文字数での縦横の組みラインを意識し、混み入った部分の視認性を高めた書体です。シネマ丸ゴシックは、字幕文字制作者の協力で書き起こしたシネマ仮名と組み替えた映画字幕用書体として制作され、デジタルシネマの現場で好評を得ています。①ちび丸ゴシックは、文字を見せるためだけでなく、文章を読ませるための丸ゴシック体です。出しやばりすぎないデザインと小さな字面からちび丸ゴシックと名付けられました。清潔感のあるたたずまいは、ボリュームのある文章にもスムーズになじみます。①シリウスは、「ふところ」を大胆に広くとり、明るさと文字並びの良さを強調しました。仮名の字面をできるだけ大きくデザインし、縦組み・横組みともにきれいにラインが揃い、現代的な好印象を与える紙面を構成することができます。また、線の太さに強弱を付けていますので、リズム感があり可読性に優れています。

シリウス ポスタイ

数値表記（例えば、タイポスA211とは2が横線の太さ、11が縦線の太さの比率です）で25ウエイトがラインナップされています。さまざまな漢字書体との組み合わせの中で、やはり一番相性が良いのはタイポバンク明朝とゴシックです。①また、タイポスの漢字デザインは1968年グループ・タイポの機関誌に発表されて以来、時代と共に進化し、2008年に漢字タイポスとして初めてフォント化され、ファミリーも5ウエイト揃いました。40年経つても今なお新しく、キュートでコケティッシュな表情は多くのタイポスファンを魅了し、そのシンプルで明るい字形は、印刷媒体だけでなくWebや携帯電話などの画面表示でも読みやすい書体として注目を浴びています。

ウツディ

横線は細く、縦線とハライは太く、シャープなエレメントは、簡潔で現代的な感性を表しています。本文組みから見出しまで、幅広く使用できる汎用性の高い書体です。

TBゴシック

きく印字したときも黒味や形にムラがありません。対して、TB見出ゴシック、TB新聞見出ゴシックはセリフ付きのゴシック体で、線質や字形に勢いを与えた生き生きと趣のあるゴシック体です。①TBゴシック for Condenseは、文字幅を比率で指定できるソフトで使用される事を想定し開発した書体です。通常と同じようにテキストを入力し、文字の変形率を指

ゴシック

は、近代的な明るいイメージのなかに、切れ味と抜けの良さを持ち、ゴシック体独特のパンチとインパクトがありながらも、格調高い雰囲気を漂わせる優美な書体です。毛筆風のやさしいエレメントを残したデザインが字面に快いリズム感を与え、可読性と判別性に優れ、縦組み・横組みともに並びのよい紙面を構成することができます。OpenTypeフォントでは、本明朝との併用および本文や見出し適正を考慮した「新がな」を持たせました。カウンターは幾分絞り込んで小振りとし、読書に心地よいリズム感をもたらす工夫を随所にこらしてあります。

TB カリグラ ゴシック クラ

カリグラフィー（手書き）の要素を盛り込んだゴシック体です。楷書的な骨格にシャープなゴシックのエレメントを持たせ、読む人に上品な優しさが伝わるようにデザインされています。従来の楷書体では堅苦しいし、明朝体や普通のゴシック体では無表情で少し味気ないというときに効果を発揮するでしょう。一つ一つの文字の持つ自然なふところを充分に尊重しながら、字並びが美しくラインとして揃うように調整してあります。絵本やロハス系の雑誌など優しさを求められます。絵本やコンテツで、その持ち味を発揮します。

G2 サンセリフ

通常のゴシック体ではカバーしきれない、より力強さが求められる場面に効果を発揮するディスプレイ書体です。始筆・終筆部を水平・垂直に処理することにより、縦組みと横組みの両方の行ラインをより鮮明にしました。また、「書」の流れを一切はぶいたシンプルな字体とすることで、太さに耐えられるデザインにし、力感と重量感を持たせた強い印象を与える書体です。

木肌のしなやかさと、温もりを表現する新しいサンセリフ書体で、画数の多い漢字の目づまり現象を解消し、可読性を高めました。バランスのよい骨格と水平・垂直な線、

本明朝

は、しなやかなカーブとキレのある直線を調和させた、可読性の良い本格派の本文用明朝体です。写植の時代から力強くいきてきた本明朝は、近代的な明るさのなかに、よき伝統を継承する毅然とした表情を持ち、ひとつひとつの文字の造形美を考慮してデザインしています。5ウエイトが揃い、本文組みから見出しまで使用でき、いろいろな表情を持たせるために「標準がな」「新がな」「細いウエイトでは「小がな」「新小がな」と、4種

類の仮名を用意しました。①また、本明朝の流れを踏襲し、判別性と可読性を重視して、適度な黒みと安定感のある「書籍専用書体・本明朝Book」を用意しています。ウエイトはLとMの間とし、エレメントは活字本来の柔軟性の再現のため、アナログ的な要素を取り入れました。11Qから16Q（8ptから12pt）の書籍や雑誌の本文での使用を想定して、仮名や句読点、括弧などの約物の位置や大きさを調整しました。さらに、本明朝Bookの濃度とボディサイズに合わせて調整した、Venetian、Garamond、Baskerville、Bodoniの4種の欧文書体も揃えました。

ナウは、明朝系とゴシック系との2系列を一つの書体シリーズとして構成し、どちらも、新しい感覚のデザインコンセプトに特長があり、判別性と誘目性に優れ、強い印象を与えてくれる書体です。①ナウ（明朝系）は、従来の明朝体の概念を越えた、横太明朝体です。明朝体のイメージを保ちながら安定した骨格とシンプルなエレメントで構成し、大サイズでの重量感を満たすと共に、小サイズにおいてもツブレの少ないヌケの良さを持っています。ナウ（ゴシック系）は、力強い骨格とキレのよいエレメントで構成し、シャープな直線と優雅な曲線が調和したゴシック体です。画数が多い文字でもツブレの少ないヌケの良さを持った濃度の均一した書体で、縦組み・横組みとも良質な組版が行えます。

ナウ シリーズ

①平成明朝体は、低解像度のOA機器で出力した場合でも、高い品質を保持できるよう、デジタル化に適したエレメントやカーブを持たせた書体です。平成角ゴシック体は、直線的な線分で構成され、デジタル化にも適し、見出し用としての使用を主な目的としてデザインされた書体です。平成丸ゴシック体は、文字の「ふところ」を広くし、明るく可読性の高い書体です。

タイプバンクの フォントファミリー

TB明朝

の仮名は、横組みを意識し、簡潔で明るく、おおらかなイメージでデザインしました。漢字はスッキリと整理されたエレメントで構成され、美しく凛とした品格ある組版を実現できます。①TBクラシック明朝は、全体的にふところをしばりエレメントを柔らかく強調し、伝統と現代を美しく調和させました。TB見出明朝は、縦横のコントラストが強く、重厚で迫力あるデザインにしました。TB明朝用の組み替え仮名としてクラシック明朝L/Mとカリグラ明朝Lもあります。①TB横太明朝は、ゴシック体のように縦横の太さが同じボリューム感を持つように設計され、ポスターの白抜き文字や写真・地紋

新聞 書体

新聞の伝統を尊重しながらも、新しい時代の新聞紙面作りになさわしい書体です。①本文用に開発されたTB新聞明朝は、平時の字面や文字の持つスペース配分を計算し作成しており、縦に読み下すとき文章の流れを追いやすいデザインとなっています。①また、新聞印刷技術の進化やユニバーサルデザインの要望を考慮し、従来の本文書体よりもふところを大きく、横線にしっかりとした太さを保ち可読性を上げています。①TB新聞ゴシックは、平時時のデザインバランスはもとより、新聞明朝との混植を考慮し黒味や大きさを調整しました。

などに重ねて使用すると、はっきりと文字が表示でき、その効果を発揮します。スタイリッシュな欧文のデザインも魅力のひとつです。①TBテレビ明朝とデジタルテレビ明朝は、走査線の限られた、TVテロップやゲーム画面などでも横線が消えたりちらついたりしないように制作しました。ヨコ線は太めに、エレメントは大きくシャープでハライの先端も一定の太さを保っています。両者共に、プロ仕様のTVテロップ、ゲームや映画の中の字幕スーパーはもちろんのこと、家庭用ムービーの編集やWebコンテンツ画像などにも便利な書体です。

フ ア イ ン

縦線と横線の太さに差を持たせ、メリハリのきいた切れ味の鋭い見出し用の明朝体です。①エレメントは造形性を追求し、明朝体に現代的な表情を持たせました。ウロコは大きくシャープにとり、縦線は思いっきり細くしました。さらに、ハライやハネなどのカーブに、緊張と弛緩のおりなす「反りの美」を追求しました。

平成書体

は、平成元年、文字フォント開発・普及センターにて、日本語の標準的なフォントとして開発された書体です。書体によりW3からW9まで用意され本文組みから見出し、大見出しまで使用できま

松慶行書体

松慶行書体は、筆文字としての筆の勢いを重視した、従来のデジタル文字とは大きく趣を異にする行書体です。漢字と仮名のハーモニーが、優しく温かい印象を与えるように考慮しました。そして、書の流れを意識しながら縦組みにおける文字の並びや可読性に注意を払い、行書体としての個性と特徴を持たせた書体です。

TBUDシリーズ

タイプバンクのUD書体は、タイプデザイナーだけではなく、第三者学術機関である慶應義塾大学の中野泰志教授の研究結果をデザインの最終決定に取り入れているのが特徴です。文字の誤認しやすい状況を分析し、その結果に基づいて制作された書体を文字の判断のしやすさと読みやすさの点で評価実験を行い文字のデザインに反映させる。このような検証プロセスを経て高い可視性と可読性を持つUD書体を作り上げています。『TBUDゴシックを筆頭にTBUD丸ゴシック、TBUD明朝、UDタイポスの4ファミリーが開発されています。「より多くの人に読みやすく理解しやすいこと」を目的に開発されたこれらの書体は、読みやすさを重視する場面で効果を発揮します。視力の弱い方への配慮はもちろん、広報誌やガイド、マニュアル、プレゼンテーションの資料、公的な文書等に、対象の老若男女を問わず、さまざまな場面で活用することができます。

TB古印体

総称としての「古印体」につきまとう古さを脱して、小粋で洒落た、新しい時代の古印体です。切欠部は石に彫られた文字の一部が欠けて偶然生ずる造形の妙を表現する

ために、自然でアクのないものに工夫し、字体は基本書体にならない読みやすくしています。筆文字にありがちな恣意にはしることなく、筆勢や筆の強弱を強調した書体です。

味岡伸太郎かなシリーズ

タイプバンクの基本書体（明朝・ゴシック・丸ゴシック・横太明朝・ナウ）には、標準の仮名のほかに「味岡伸太郎かなシリーズ」と呼ばれる5つの仮名を組み合わせることができます。この発想は、当時のグラフィックデザイン界にブームを巻き起こしました。築地は、築地書体の仮名の骨格を活かした書体です。小町は、書道と活字の骨格の中間的な性格を持たせた女性的な艶やかな書体です。良寛は、禅僧良寛の墨跡から骨格を求めた独創的な書体です。行成は、平安時代の一般的な骨格をもとに創作した書体です。弘道軒は、弘道軒清朝体の骨格を活かした書体です。

一般的な日本語の文章は60〜70%が、かなで占められています。テキストの表情を決定するのになかの影響がとて強いといえます。タイプバンクでは、勸亭流風ゴシックの「てやんでえ」、アールヌーボ調の

TBかな

「クラーパー」、グロテスクゴシック系の「オズ」「赤のアリス」「白のアリス」とユニークでデコラティブなデザインの仮名書体も揃えています。書籍のタイトルやパッケージデザインなど今までにないダイナミックで楽しい表現を演出します。

かなばんろ

グラフィック、プロダクト、装丁、Webなど様々な分野で求められるかな書体は、その要望も独特で面白く、今までに無いアイデアに溢れています。各分野で活躍されている方たちの自由な発想で作られたかな書体群「かなバンク」は、書体デザイナーのノウハウをタイプバンクがしっかりとサポートしながらも、楽しく奔放な書体の世界を広げていきます。『豊かな創造性のあるかな書体をシリーズとして「フィンガー」「ツルコズ」「TREE」「BREAKOUT」を用意しました。

羽衣篠

篠は、伝統的な風格ある感性を持ち、毛筆の線の流麗さを活かしながらも、可読性に重点を置いて、楷書風を温存した骨格で表現した行書体です。エレメントは抑揚を少し抑え、線の両端にメリハリを付け、視覚的に現代性の表情を持たせています。『羽衣は、楷書体では堅いし行書体ではくずれすぎるというニーズに応え、その中庸をとった「行楷書」という新しい書体です。従来の筆文字には見られなかった活字的なレターバランスで設計し、エレメントに特別な工夫をこらしました。その結果、幅広い文字サイズに対応できる柔軟さと、縦組み・横組みを問わない字並びの良さを持っています。

TBコミック書体

写植用書体としてなだいでいたかな書体とゴシックの漢字を組み合わせ、コミック用特殊記号を外字に持たせたコミック用の書体です。デジタル化にあたり、字並び、形状、太さを漢字に合わせて調整しました。吹き出し・状況説明・心理描写とそれぞれにあった使い方ができるように、アンチック-B、フキダシチック-B、ミダシチック-E、レタリック-Bと4種類のバリエーションを揃えました。また、コミック用としてではなく、見出しやリード文など広範囲な用途にもお使いいただけます。

日活正楷書体 TB新楷書

日活正楷書体は、筆写書体の代表的なものととしてその雄渾な筆致をそのままに、大・小・太・細を均整よく表現した、力強く、伸びのある字並びのよい楷書体です。儀礼を重んじる格調高いデザインで、その高雅な筆致は筆写書体として格別な味わいを醸しだし、礼儀用、社交文書に広く使用できます。組版したときに、可読性、判別性に優れ、豊かな表情を伝えてくれる読みやすい書体です。『TB新楷書は、楷書体の流れを活かし、キレのある鋭いイメージにまとめた、新しいタイプの新楷書体です。一文字の隅々にまで気を配った造形的な美しさがあり、完成度の高い書体です。現在、楷書体として広く用いられている正楷書体（軟体楷書体）とは趣きを変えた書体で、汎用性の高い書体です。

ぽっくる

まるで春の野面のツクシのように、ほのぼのと暖かみのあるPOP書体です。わが国の近代レタリング文字の伝統を踏まえながら、ポッチャリとして、ほのぼのとした温かみのある直線、クルリと回転するような可愛らしい曲線によって構成されており、飄逸で洒脱、ユーモアのある紙面の形成に貢献します。

ぶらっしゅ

タイトル文字にふさわしい太さと、始筆・終筆に荒さを持たせた、フリーハンドスタイルのディスプレイ書体です。文字の「ふところ」を大きくし、組んだときに隙間や黒みに差がでないよう、文字の外側の線を最も太い線で囲むようにデザインしました。また、筆の勢いを形式化したそのエレメントは、素朴で親しみやすい雰囲気醸しだし、ゴシック体とは異なる味付けと強さが求められる場合に最適な書体です。

鉄筋隷書 流飄行書

鉄筋隷書と流飄行書は中国の方正株式会社書体デザインチームと共同開発した書体です。鉄筋隷書は漢代の隷書の構造を基礎とし、秦代の小篆の筆法を参考にし古風で優雅、かつ現代的な風格を持つ隷書に仕上げました。流飄行書は自然で流暢な筆体、力強く勢いのある書道の味わい濃い書体です。名前の通り飄逸で行書本来のあかぬけた筆法を殺さないよう、日本人に媚びすぎない字形に押さえています。『行書マイルドと行書ビターは流飄行書の組み替え仮名として作成しました。2つの書体の独特の香気を「マイルド」「ビター」という名称が体现しています。行書だけでなく明朝体やゴシック、丸ゴシックなどと組み合わせ、そのまろやかさ、ほろ苦さの表現力を組版にプラスしてみてください。

日立書体

日立製作所デザイン部で開発された書体です。日立つれづれぐさは手書きの個性をそのまま活かしたペン字体、日立楷書体は力強い筆の動きを意識した楷書です。

フローレン

は、基本書体にとらわれない独創的な形状のエレメントを持った、新しいコンセプトの見出し・本文用の書体です。毛筆の構成により漢字と仮名のフトコロのバランスを調整しており、文字のヌケがよく小サイズにも対応できます。そして、毛筆の自由な動きを原点到、柔らかいが、遊びすぎず、「趣」のある表情を持たせた書体です。「標準がな」以外に、「明朝がな」と「ゴシックがな」もあり、幅広く使用できる汎用性の高い書体です。

サン

ゴシック体の力強さと行書体の筆触の柔らかさを兼ね備えた、カリグラフィー風の書体です。エレメントは、伸び伸びとした手書きの柔らかさを活かし、字体は行書の筆運びにならって、大胆にくずしたデザインになっています。ネーミングの元となった「燦々^{さんさん}」と明るく輝くように、紙面に明るさを与えてくれる書体です。

花胡蝶 花蓮華 花牡丹

『伝統書体シリーズ』として漢字は台湾、仮名は日本で開発した書体です。『花胡蝶（宋朝体）は、中国刊本字様、取り分け南宋刊本の歴史を継承した書体です。漢字はいくぶん長方形で、起筆部のつよさ、曲げハネの鋭さ、大きくて鋭角なハライの先端などに特徴があります。仮名は本文適性を考慮したクセの少ない書風で、いくぶん小振りに設計してあります。軽やかでリズムのある、格調高い組版が実現できます。『花蓮華（楷書体）は、清王朝の康熙帝に源流を発する、書系の書写風楷書字様——すなわち軟体楷書の系譜にある、端正で、柔軟で、なめらかな筆意が強調された書体です。仮名は明治期の木版印刷物に登場した、流麗なかな字様を骨格

の参考として、まろやかさを強調し、連綿の筆意を残しながら、安定感と快適なテンポを演出することをねらいとしました。『花牡丹（隷書体）は、文字形象が定着した中国漢王朝を代表する、もつとも正当な書体として評価が高い書体です。漢字はそのような伝統をおもくみて、正統かつ伝統的な姿を持ちながらも、新しい時代に対応できるデザインとしました。書かれたのちに石に刻まれ、その風化と風蝕をへてきた素朴で古拙感を漂わせる形象や、抑制された横面のうねるような波礫、そしていくぶん扁平で八分隸の安定感もそなえています。仮名は波礫や扁平の味を抑制しておだやかな表情を持たせ、漢字と自然に融和させることを試みました。